

【研究概要】

COVID-19 は中枢神経に作用して様々な精神症状を呈することがある。我々は COVID-19 脳症を疑った症例を経験した。患者は X 日に COVID-19 に罹患、その後まとまりのない言動・行動を認めるようになり、X+10 日に当院へ入院した。血液検査や CT では異常はなかったものの、髄液検査で細胞数増多（単核級 24 個/mm³）を認めた（髄液の COVID-19 は陰性）。向精神薬（アセナピン、バルプロ酸 Na）およびステロイドパルスが施行され、日に日に状態は改善し、X+17 日に退院した。